

那智勝浦町 循環型社会形成推進地域計画

那智勝浦町

令和2年12月3日 作成

令和3年12月20日 変更

令和4年8月3日 変更

令和5年3月28日 変更

目 次

| | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項 | 1 |
| 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標 | 2 3 |
| 3. 施策の内容 | 7 8 |
| 4. 計画のフォローアップと事後評価 | 12 13 |
| 添付資料 | |
| 添付資料 1 対象地域図 | 14 15 |
| 添付資料 2 目標の設定に関するグラフ | 15 16 |
| 添付資料 3 分別区分説明資料 | 17 18 |
| 添付資料 4 現有処理施設の概要 | 18 19 |
| 様式 1 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 1 | 19 20 |
| 添付資料 5 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ | 21 22 |
| 添付資料 6 地域内の施設の現況と予定 | 26 27 |
| 様式 2 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 2 | 27 28 |
| その他参考資料 | |
| 参考資料様式 1 施設概要（リサイクル推進施設系） | 28 29 |
| 参考資料様式 2 施設概要（熱回収施設系） | 29 30 |
| 参考資料様式 6 施設概要（浄化槽系） | 30 31 |
| 参考資料様式 7 計画支援概要 | 31 32 |

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

| | |
|--------|-----------------------|
| 構成市町村名 | 那智勝浦町 |
| 面積 | 183.31km ² |
| 人口 | 14,660人（令和2年10月31日現在） |

(2) 計画期間

本計画は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済の情勢の変化を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

那智勝浦町は和歌山県南東部に位置し、町面積は183.31 km²であり、山地と丘陵地を合わせた面積が総面積の約90%を占めている。また、本町北部に那智連峰が連なり、那智川、太田川が南東に流れ熊野灘へ流入しており、本町の平野部は両河川流域と海岸地域に形成されている。

このような地域特性のなかで、資源ごみの分別収集や生ごみ処理機の購入費補助、ごみ処理手数料の有料化等を実施し、ごみの減量化・資源化を推進してきた。

本町のごみ処理施設は平成3年より稼働しており、30年近く経過していることから施設の老朽化が著しい。循環型社会の形成が社会的に求められており、新たな施設の整備が急務となっていることから、新たなごみ処理施設の整備事業を推進するとともに、より一層の排出抑制と再資源化に努めていくものとする。

また、生活排水の処理については、河川等公共水域の水質保全のため、合併処理浄化槽への転換を推進していく。

(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

和歌山県ごみ処理広域化計画（平成16年7月 第2次改訂）において、県内を7つのブロックに区割りしており、本町は「新宮広域ブロック」に位置付けされている。
ごみ処理施設の広域化については、当初はし尿処理施設で一部事務組合を通じて共同処理を行っている太地町と2町による広域化を計画し、その後新宮市も含めた1市2町での広域化を検討するも合意には至らず、本町単独で施設整備をすすめることとなった。
現在のところ、新たな広域化の計画は具体化していないが、今後の施設整備状況等を注視し、広域化に向けた協議・検討に取り組んでいく。

(5) プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

本地域は全部過疎地域であるが、一部のプラスチック製品についてはすでに資源として取り扱っており、今後もコストや環境影響等の情報収集を行い、財政状況等を踏まえながら分別収集の拡充・再商品化の推進について検討を行う。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

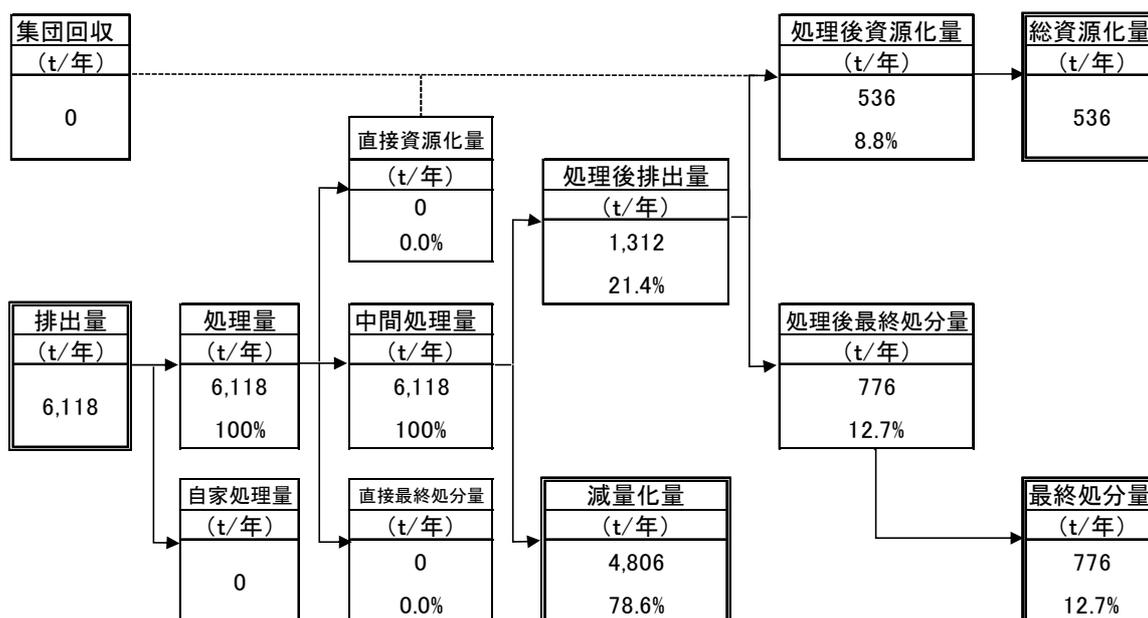
(1) 一般廃棄物等の処理の現状

令和元年度の本町における一般廃棄物の排出・処理状況は、図1のとおりである。

総排出量は、6,118 t/年であり、再生利用される「総資源化量」は、536 t/年、リサイクル率（資源化量/ごみ排出量）は、8.8%である。

中間処理による減量化量は、4,806 t/年であり、ごみ排出量の78.6%が減量化されている。また、ごみ排出量に対し12.7%が埋め立て処分されている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は5,446 t/年である。



※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

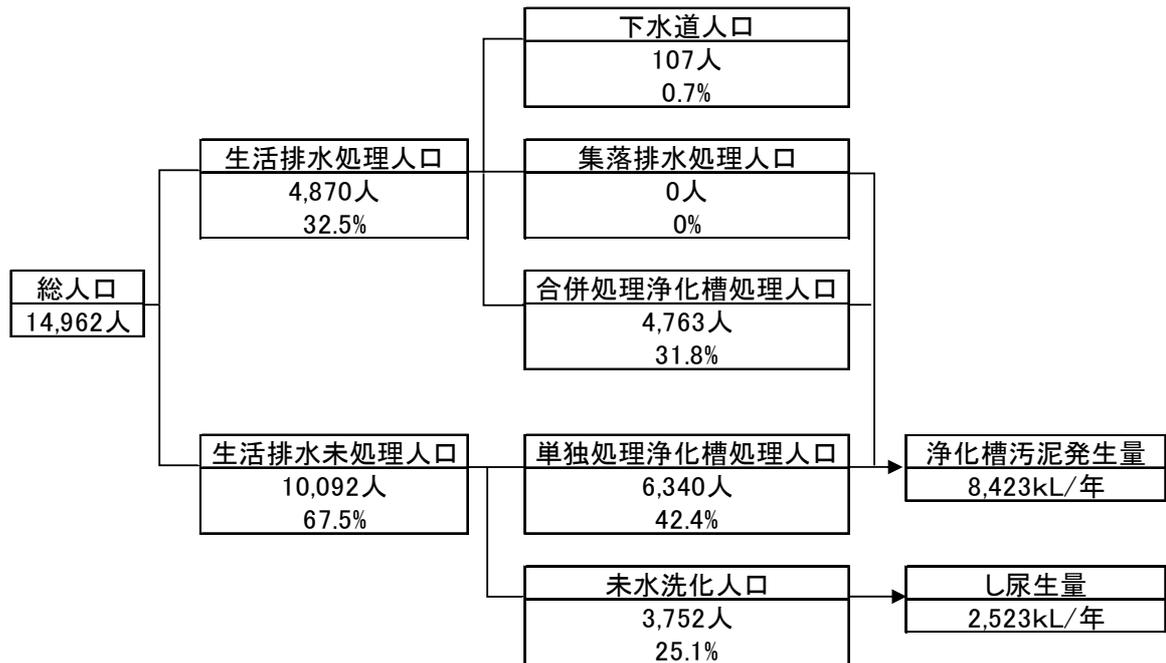
図1 一般廃棄物の処理状況フロー（令和元年度）

(2) 生活排水の処理の現状

令和元年度の本地域における生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図2のとおりである。

生活排水処理対象人口は全体で14,962人であり、処理人口は4,870人、汚水衛生処理率は33.0%である。

し尿発生量は2,523k1/年、浄化槽汚泥発生量は8,423k1/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は10,946k1/年である。



※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

図2 生活排水の処理状況フロー（令和元年度）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

| 指 標 | | 現状 (割合 ^{※1}) (令和元年度) | 目標 (割合 ^{※2}) (令和8年度) |
|--------------|----------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 排 出 量 | 事業系 総排出量 | 1,080 t/年 | 1,092 t/年 (1.1%) |
| | 1 事業所当たりの排出量 ^{※2} | 1.0 t/事業所 | 0.9 t/事業所 (-10.0%) |
| | 家庭系 総排出量 | 5,038 t/年 | 4,526 t/年 (-10.2%) |
| | 1 人当たりの排出量 ^{※3} | 334 kg/人 | 296 kg/人 (-11.4%) |
| 合 計 事業系家庭系合計 | 6,118 t/年 | 5,618 t/年 (-8.2%) | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 0 t/年 (0.0%) | 0 t/年 (0.0%) |
| | 総資源化量 | 536 t/年 (8.8%) | 618 t/年 (11.0%) |
| エネルギー回収量 | エネルギー回収量 (年間の発電電力量及び熱利用量) | 0 MWh/年 0 GJ/年 | 0 MWh/年 737 GJ/年 |
| | 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 776 t/年 (12.7%) 674 t/年 (12.0%) |

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合。但し、総資源化量は総排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / 事業所数

※3 (1人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

《指標の定義》

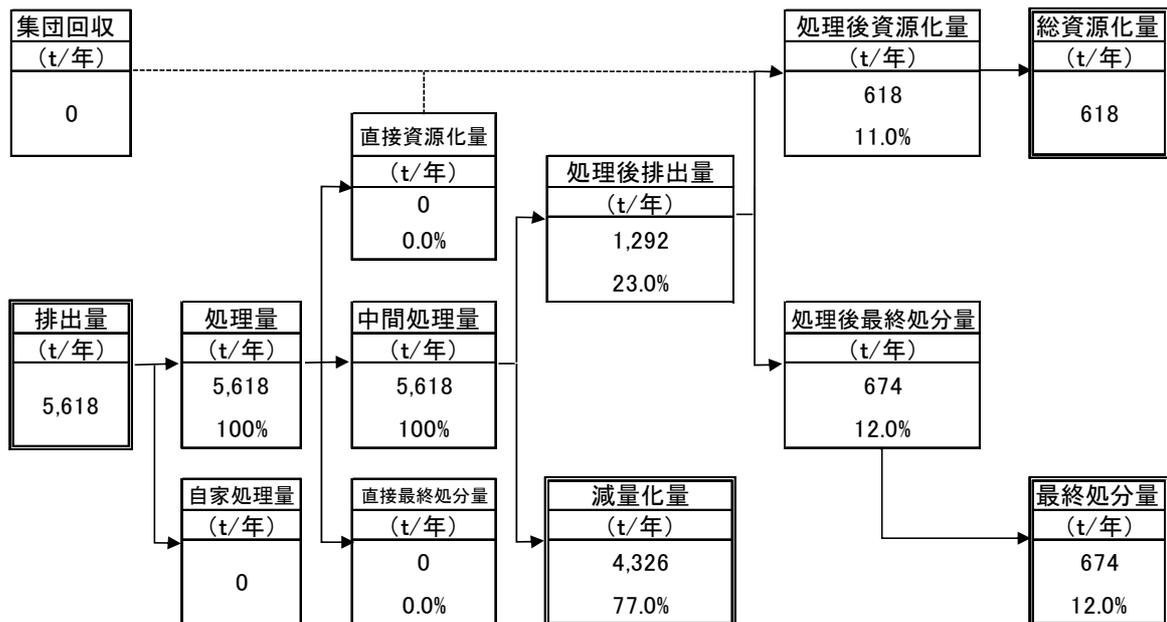
排 出 量: 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (単位: t/年)

再 生 利 用 量: 中間処理後の再生利用量 (単位: t/年)

エ ネ ル ギ ー 回 収 量: エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量 (単位: MWh) 及び熱利用量 (単位: GJ)

減 量 化 量: 中間処理量と処理後の排出量の差 (単位: t/年)

最 終 処 分 量: 最終処分された量 (単位: t/年)



※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

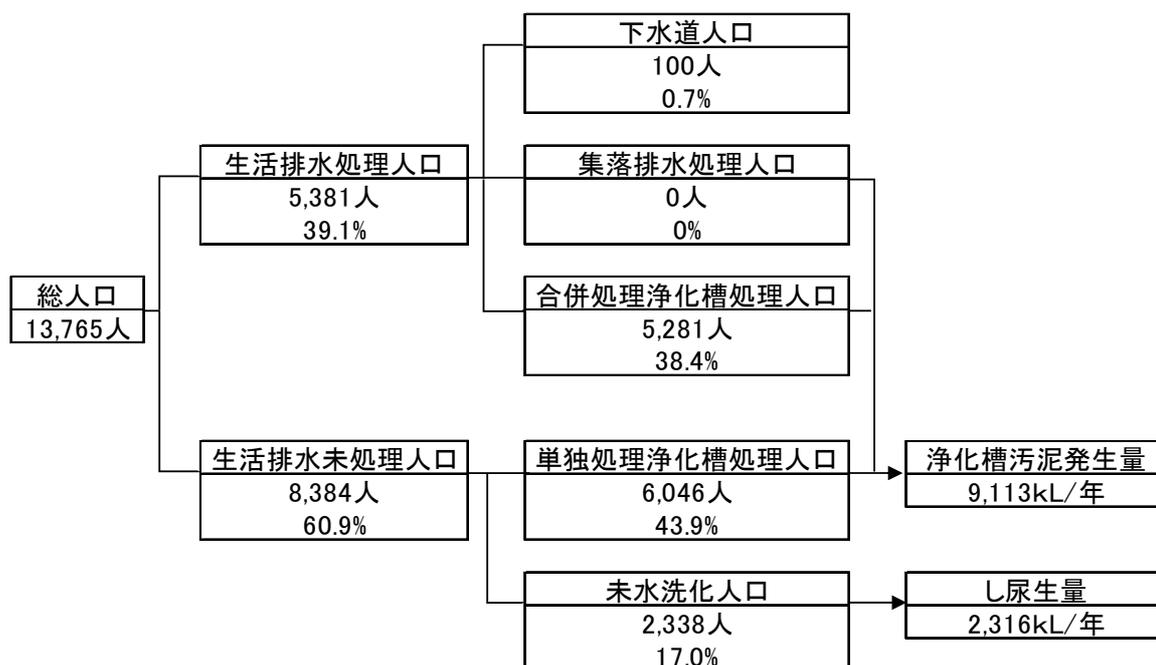
図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（令和8年度）

(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表2に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表2 生活排水処理に関する現状と目標

| | | 令和元年度実績 | 令和8年度目標 |
|---------|-------------|--------------------|-------------------|
| 処理形態別人口 | 公共下水道 | 107 人 (0.7%) | 100 人 (0.7%) |
| | 農業集落排水施設等 | 0 人 (0.0%) | 0 人 (0.0%) |
| | 合併処理浄化槽等 | 4,763 人 (31.8%) | 5,281 人 (38.4%) |
| | コミュニティプラント等 | 0 人 (0.0%) | 0 人 (0.0%) |
| | 未処理人口 | 10,092 人 (67.5%) | 8,384 人 (60.9%) |
| 合計 | | 14,962 人 | 13,765 人 |
| し尿・汚泥の量 | 汲み取りし尿量 | 2,523 キロリットル | 2,316 キロリットル |
| | 浄化槽汚泥量 | 8,423 キロリットル | 9,113 キロリットル |
| | 合計 | 10,946 キロリットル | 11,429 キロリットル |



※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

図4 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和8年度）

3. 施策の内容

(1) 発生抑制・再使用の推進

ア ごみの有料化（事業番号5）

本町では排出量に応じた処理費用の負担を目的として、指定ごみ袋制度を導入している。またステーション回収対象外の粗大ごみや自己搬入ごみについても有料とし、区分ごとに設定した処分手数料を徴収している。

今後は排出量抑制・再生利用の促進を図るべく、ごみ処理手数料や指定ごみ袋の料金について検討し、適正な負担額の設定・見直しを行う。

イ 環境教育、普及啓発の推進（事業番号6）

本町の分別方法や排出量といったごみに関する情報を広報紙やホームページを通じて町民や事業者に広報することにより、ごみ問題への関心を促し、自主的にごみの減量化に取り組むよう意識付けを行う。

また、次世代を担う子供達にごみ問題に関する意識が育まれるよう、学校教育において行われている社会科見学等の環境問題に関する学習活動と連携した環境教育を実施する。

ウ マイバッグ持参運動の推進（事業番号7）

レジ袋の削減に向けて、わかやまノーレジ袋推進協議会の取組みに参加し、マイバッグの持参や過剰な包装を断る等、環境意識の高揚を図る。

エ 助成、支援（事業番号8）

本町ではコンポストを始めとした生ごみ処理容器の購入補助制度を通じてごみの減量化や資源化を推進している。より一層の資源化を推進すべく、現在の普及率や利用状況等について把握し、制度の拡充を検討していく。

(2) 処理体制

ア 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。可燃ごみについてはクリーンセンターで焼却処理を行い、焼却残渣の埋立ては県外に処理を委託している。紀南環境広域施設組合にて整備中の広域最終処分場の供用開始後はそちらへの搬入となる。資源ごみについてはクリーンセンターにおいて分別・破碎処理後に民間委託による再資源化処理または埋立て処理を行っている。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系一般廃棄物の処理については、各事業者自身が適正に処理するよう指導している。なお、事業用の指定ごみ袋を使用することにより、少量（5袋以内）のものに限りごみステーションを利用できることとしている。今後も事業者や事業者団体に対して、積極的にごみの減量を要請していく。

ウ 一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物の現状と今後

那智勝浦町では一般廃棄物処理施設による産業廃棄物の処理は行っていない。

一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物については、廃棄物処理に係る法令、条例等に基づき適切に処理する。

エ 生活排水処理の現状と今後

本町における生活排水の処理は一部を除き浄化槽が中心となっている。公共用水域の水質改善を図るべく、補助制度の周知を行い、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進していく。

オ 今後の処理体制の要点

- ◇ 現在の一般廃棄物処理施設の老朽化が著しく、新施設の整備が必要となっていることから、早急に新施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設・マテリアルリサイクル推進施設）の整備を進める。
- ◇ 新施設においては循環型社会の形成の拠点となるような施設の在り方を検討し、環境に配慮した廃棄物処理に加えて、環境学習の場としての機能のほか、災害時にも対応可能な施設とする。
- ◇ 生活排水処理については、便槽（くみ取り）、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進し、生活雑排水による公共水域等の水質悪化を防止する。

表3 那智勝浦町の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

| (令和元年度) | | | | |
|---------|---|---------------|------|---------------|
| 分別区分 | 処理方式 | 処理施設等 | | 処理実績 (t/年) |
| | | 一次処理 | 二次処理 | |
| 可燃ごみ | 熱回収埋立 | 那智勝浦町クリーンセンター | 委託 | 5,446t/年 |
| 不燃ごみ | 選別埋立 | | | 31t/年 |
| 粗大ごみ | 破碎、選別、熱回収、埋立、資源化 | | 売却 | 302t/年 |
| 資源物 | 紙類(ダンボール、雑誌、新聞、チラシ、紙パック) | | | 184t/年 |
| | ガラス類(空きビン、ガラス製品、蛍光灯) | 17t/年 | | |
| | ペットボトル(飲料用、しょうゆ、酒類等の容器で「PET」と表示のあるもの、発泡スチロール) | 138t/年 | | |
| | 金物類(空缶、金物、一部に金属が含まれている製品・小型の家電製品、乾電池) | 委託売却埋立 | | |



| 今後(令和8年度) | | | | |
|-----------|---|-------------------|--------------|---------------|
| 分別区分 | 処理方式 | 処理施設等 | | 処理見込 (t/年) |
| | | 一次処理 | 二次処理 | |
| 可燃ごみ | 熱回収埋立 | (仮称)那智勝浦町クリーンセンター | 紀南広域廃棄物最終処分場 | 4,926t/年 |
| 不燃ごみ | 選別埋立 | | | 42t/年 |
| 粗大ごみ | 破碎、選別、熱回収、埋立、資源化 | | 売却 | 278t/年 |
| 資源物 | 紙類(ダンボール、雑誌、新聞、チラシ、紙パック) | | | 199t/年 |
| | ガラス類(空きビン、ガラス製品、蛍光灯) | 17t/年 | | |
| | ペットボトル(飲料用、しょうゆ、酒類等の容器で「PET」と表示のあるもの、発泡スチロール) | 156t/年 | | |
| | 金物類(空缶、金物、一部に金属が含まれている製品・小型の家電製品、乾電池) | 委託売却埋立 | | |

(3) 処理施設等の整備

ア. 廃棄物処理施設

(2) の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表 4 のとおり必要な施設整備を行う。

表 4 整備する処理施設

| 事業番号 | 整備施設種類 | 事業名 | 事業主体 | 処理能力 | 設置予定地 | 事業期間 |
|------|----------------|--------------------|-------|----------|-----------------------------|-------|
| 1 | エネルギー回収推進施設 | 熱回収施設整備事業 | 那智勝浦町 | 23t/16h | 和歌山県那智勝浦町 二河 1604 番地 9 他 | R4～R7 |
| 2 | マテリアルリサイクル推進施設 | マテリアルリサイクル推進施設整備事業 | 那智勝浦町 | 3.7 t/5h | 和歌山県那智勝浦町 二河 1604 番地 9 他 | R4～R7 |

(整備理由)

事業番号 1 既存施設の老朽化及び地元協定による廃止に伴う新規施設建設のため。

事業番号 2 既存施設の老朽化及び地元協定による廃止に伴う新規施設建設のため。

イ. 合併浄化槽の整備

合併浄化槽の整備については、表 5 のとおり行う。

表 5 合併処理浄化槽への移行計画

| 事業番号 | 事業 | 事業主体 | 直近の整備済基数 (基) (令和元年度) | 整備計画基数 (基) | 整備計画人口 (人) | 事業期間 |
|------|--------------|-------|-------------------------|---------------|---------------|--------|
| 3 | 浄化槽設置整備事業 | 那智勝浦町 | 1,963 | 215 | 430 | R3～7年度 |
| | 公共浄化槽等整備推進事業 | | 0 | 0 | 0 | |
| | その他地方単独事業 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 合計 | | 1,963 | 215 | 430 | |

(4) 施設整備に関する計画支援事業

前記(3)の施設整備に先立ち、表 6 のとおり計画支援事業を行う。

表 6 実施する計画支援事業

| 事業番号 | 事業名 | 事業主体 | 事業内容 | 事業期間 |
|------|--|-------|------------------------------|------------------|
| 1, 2 | 熱回収施設整備事業 (事業番号 1) 及びマテリアルリサイクル推進施設整備事業 (事業番号 2) に係る計画支援業務 | 那智勝浦町 | 発注支援業務 (要求水準書等の作成および事業者選定支援) | R3～R4 (R2～R4) |

※事業期間の () は前計画および本計画全体の事業期間を表す。

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 家電・使用済み小型家電に関する普及啓発（事業番号 9）

各リサイクル法の対象物については、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や事業者などと協力して普及啓発を行う。

イ 不法投棄対策（事業番号 10）

不法投棄の早期発見や防止を図るべく、地域の自治会や保健所、警察との連携を密にし、パトロールの実施や啓発看板、監視カメラの設置を行う。あわせて広報等を通じてマナー向上のための啓発活動を推進するとともに、分別方法の周知不足によるごみステーションでの不法投棄（分別不十分）を予防する。

ウ 災害時の廃棄物対策（事業番号 11）

震災や水害などにより多量の廃棄物が発生した場合や、一般廃棄物処理施設が運転停止し、ごみを処理できないような大規模災害が発生した場合には、那智勝浦町地域防災計画に基づき、被災地の環境衛生の保全と早期の復興を図るため、関係機関と連携し、被災地及び避難所におけるごみ、がれき等の廃棄物を適正に処理する。

※災害廃棄物処理計画については令和 2 年 7 月策定済

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、和歌山県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進地域計画添付書類一覧

- 添付資料 1 対象地域図
- 添付資料 2 目標の設定に関するグラフ
- 添付資料 3 分別区分説明資料
- 添付資料 4 現有処理施設の概要

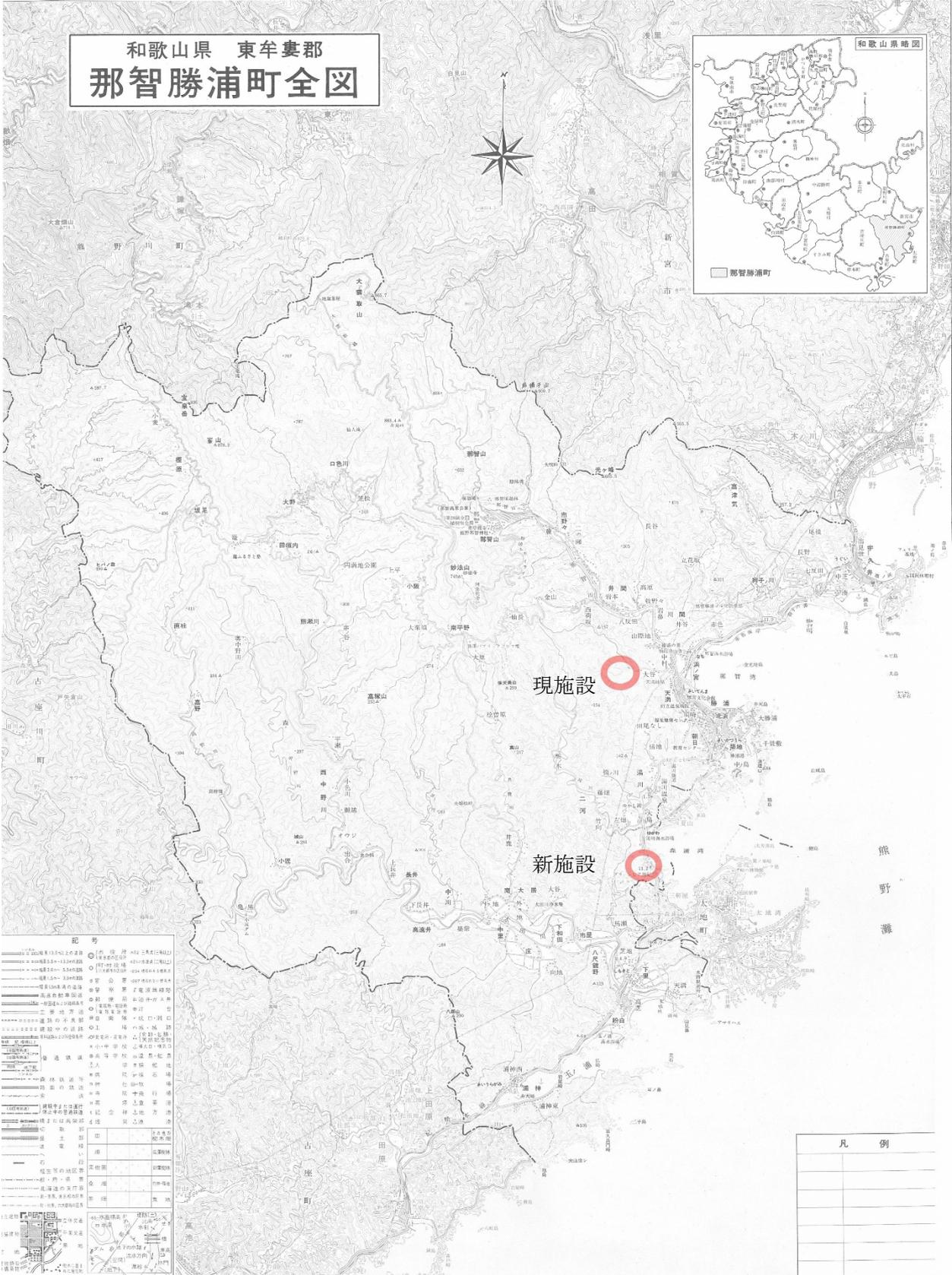
様式 1 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 1

- 添付資料 5 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ
- 添付資料 6 地域内の施設の現況と予定（浄化槽区域図を含む）

様式 2 循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表 2

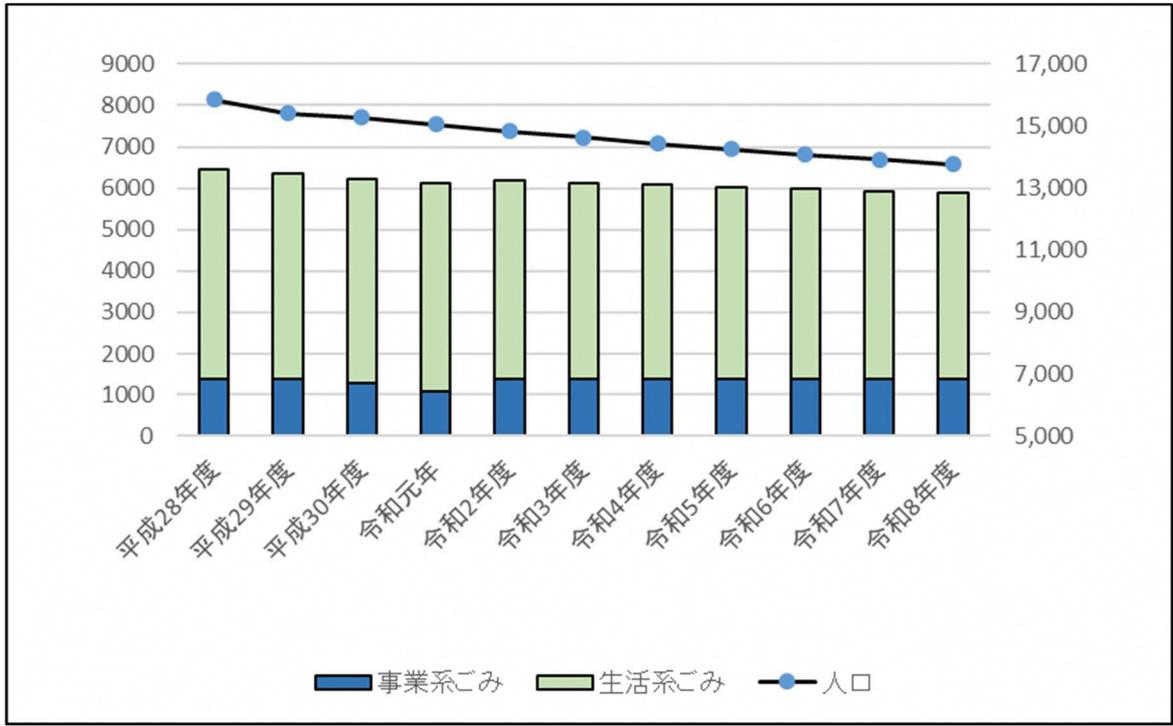
その他参考資料

- 参考資料様式 1 施設概要（リサイクル施設系）
- 参考資料様式 2 施設概要（熱回収施設系）
- 参考資料様式 6 施設概要（浄化槽系）
- 参考資料様式 7 計画支援概要

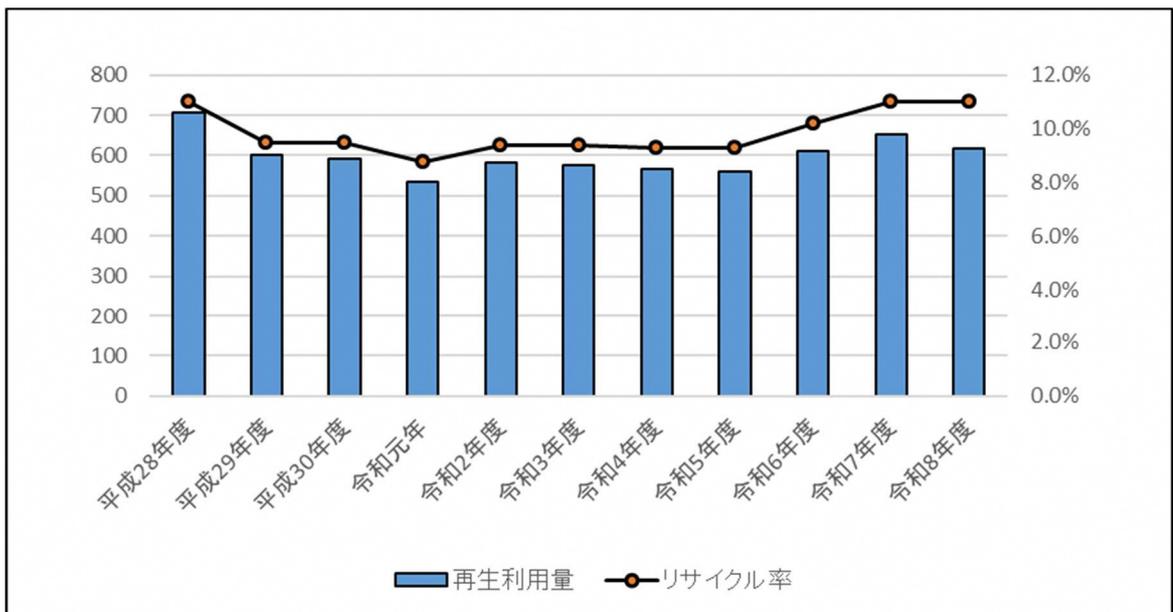


添付資料2 目標の設定に関するグラフ

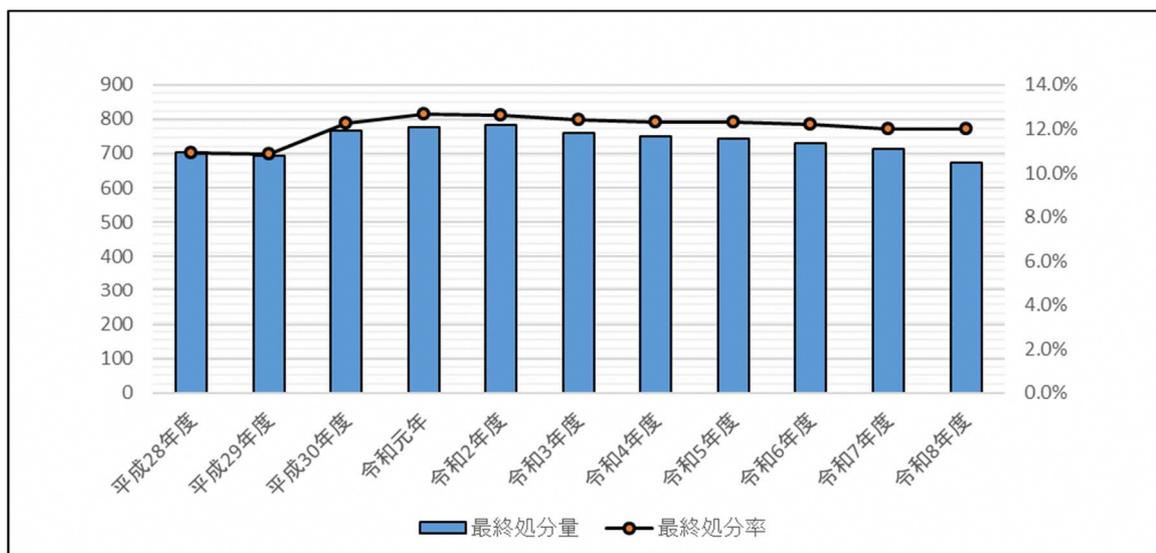
1. ごみ排出量の減量化目標



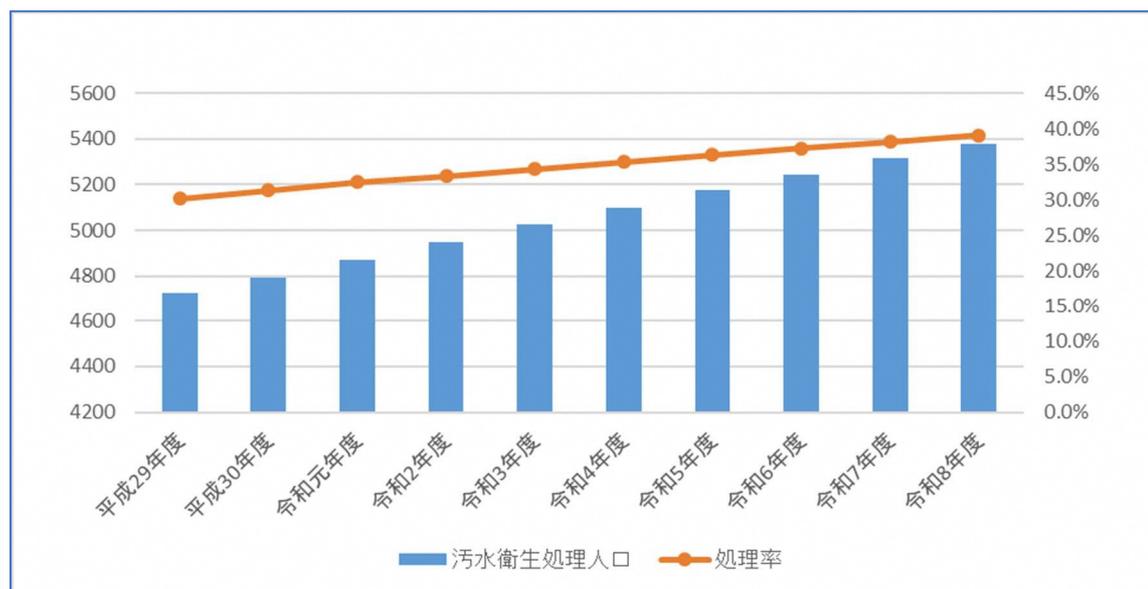
2. 再生利用量の目標 (リサイクル率)



3. 最終処分目標（最終処分量）



4. 生活排水処理目標（汚水衛生処理人口の割合）



添付資料3 分別区分説明資料

| 区 分 | 分別区分 | 収集頻度 | 収集方法 | 排出容器 |
|------|--------|------|------|---------|
| 可燃ごみ | 燃えるごみ | 2回/週 | 拠点収集 | 指定袋 |
| 不燃ごみ | 燃えないごみ | 2回/月 | 拠点収集 | 指定袋 |
| 資源ごみ | 紙類 | 2回/月 | 拠点収集 | 紙ひもで束ねる |
| | ガラス類 | 2回/月 | 拠点収集 | 指定袋 |
| | ペットボトル | 2回/月 | 拠点収集 | 無色透明の袋 |
| | 金物 | 2回/月 | 拠点収集 | 指定袋 |

添付資料 4 現有処理施設の概要

参考 1 中間処理施設の概要（令和 2 年度）

| 施設名 | 所在地 | 施設種別 | 処理対処物 | 形式及び処理方式 | 処理能力 | 稼働開始 |
|---------------|--------------|-----------|----------------|-----------|-------------|------|
| 那智勝浦町クリーンセンター | 那智勝浦町天満 1986 | 焼却施設 | 可燃ごみ | 間欠運転式流動床炉 | 50 t / 16 h | H3.4 |
| | | リサイクルセンター | 粗大ごみ・不燃ごみ・資源ごみ | 破碎・選別・圧縮 | 12 t / 5 h | |

参考 2 し尿処理施設の概要（令和 2 年度）

| 施設名 | 所在地 | 処理方式 | 処理対処物 | 処理能力 | 稼働開始 |
|-----------|----------------|------------|----------|-----------|------|
| 大浦浄苑し尿処理場 | 那智勝浦町市屋 1054-9 | 高負荷脱窒素処理方式 | し尿・浄化槽汚泥 | 37 kL / 日 | H8.4 |

災害対策について

両施設ともに浸水域には含まれていない。施設への搬入および処理が困難となった場合は、那智勝浦町災害廃棄物処理計画に基づき、周辺自治体や民間団体へ処理を依頼する。

様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画 総括表1

1 地域の概要

| | | | | | |
|----------------------------------|-------|------------|---|----------|-----------------------|
| (1) 地域名 | 那智勝浦町 | (2) 地域内人口 | 14,660人 | (3) 地域面積 | 183.31km ² |
| (4) 構成市町村等名 | | (5) 地域の要件* | 人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪、 <input checked="" type="checkbox"/> 山村 <input checked="" type="checkbox"/> 半島 <input checked="" type="checkbox"/> 過疎 その他 | | |
| (6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況 | | | | | |

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

| 指標・単位 | | 過去の状況・現状(排出量等に対する割合) | | | | | 目標 | |
|----------|-------------------------|----------------------|------------|------------|------------|------------|-------|----------------|
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和8年度 |
| 排出量 | 事業系 総排出量(トン) | 1,376 | 1,378 | 1,369 | 1,262 | 1,080 | | 1,092 (1.1%) |
| | 1事業所当たりの排出量(トン/事業所) | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 1.0 | | 0.9 (-10.0%) |
| | 生活系 総排出量(トン) | 5,133 | 5,066 | 5,051 | 4,966 | 5,038 | 集計中 | 4,526 (-10.2%) |
| | 1人当たりの排出量(kg/人) | 327 | 319 | 328 | 325 | 334 | | 296 (-11.4%) |
| | 合計 事業系生活系の総排出量合計(トン) | 6,509 | 6,444 | 6,420 | 6,228 | 6,118 | | 5,618 (-8.2%) |
| 再生利用量 | 直接資源化量(トン) | 0(0%) | 0(0%) | 0(0%) | 0(0%) | 0(0%) | 集計中 | 0(0%) |
| | 総資源化量(トン) | 701(10.8%) | 708(11%) | 603(9.4%) | 591(9.5%) | 536(8.8%) | | 618(11%) |
| エネルギー回収量 | エネルギー回収量 (年間の発電電力量 MWh) | - | - | - | - | - | - | - |
| | エネルギー回収量 (年間の熱利用量 GJ) | - | - | - | - | - | - | 737 |
| 減量化量 | 減量化量(中間処理前後の差 トン) | 5,077(78%) | 5,032(78%) | 5,070(79%) | 4,872(78%) | 4,806(79%) | 集計中 | |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量(トン) | 715(11%) | 704(11%) | 692(11%) | 764(12%) | 776(13%) | 集計中 | 674(12%) |

3 一般廃棄物処理施設の現状と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

| 施設種別 | 施設名 | 事業主体 | 形式及び処理方式 | 処理能力(単位) | 竣工年月 | 廃止又は休止(予定)年月 | 解体(予定)年月 | 備考 |
|-----------|---------------|-------|-----------|----------|------|--------------|----------|----|
| ごみ焼却施設 | 那智勝浦町クリーンセンター | 那智勝浦町 | 間欠運転式流動床炉 | 50t/16h | H3.4 | R7.7 | - | |
| リサイクルセンター | 那智勝浦町クリーンセンター | 那智勝浦町 | 破碎・選別・圧縮 | 12t/5h | H3.4 | R7.7 | - | |

(2) 更新(改良)新設施設リスト

| 施設種別 | 施設名 | 事業主体 | 形式及び処理方式 | 処理能力(単位) | 竣工予定年月 | 更新(改良)・新設理由 | 焼却施設の解体の有無及び解体施設の名称 | 備考 |
|-----------------|--------------------|-------|----------|----------|--------|-------------|---|----|
| エネルギー回収型廃棄物処理施設 | (仮称)新那智勝浦町クリーンセンター | 那智勝浦町 | ストーカー方式 | 23t/16h | R7.6 | 老朽化・地元協定 | 施設名称:那智勝浦町クリーンセンター 解体の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | |
| マテリアルリサイクル推進施設 | (仮称)新那智勝浦町クリーンセンター | 那智勝浦町 | 破碎・選別・圧縮 | 3.7t/5h | R7.6 | 老朽化・地元協定 | 施設名称:那智勝浦町クリーンセンター 解体の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |

4. 生活排水処理の現状と目標

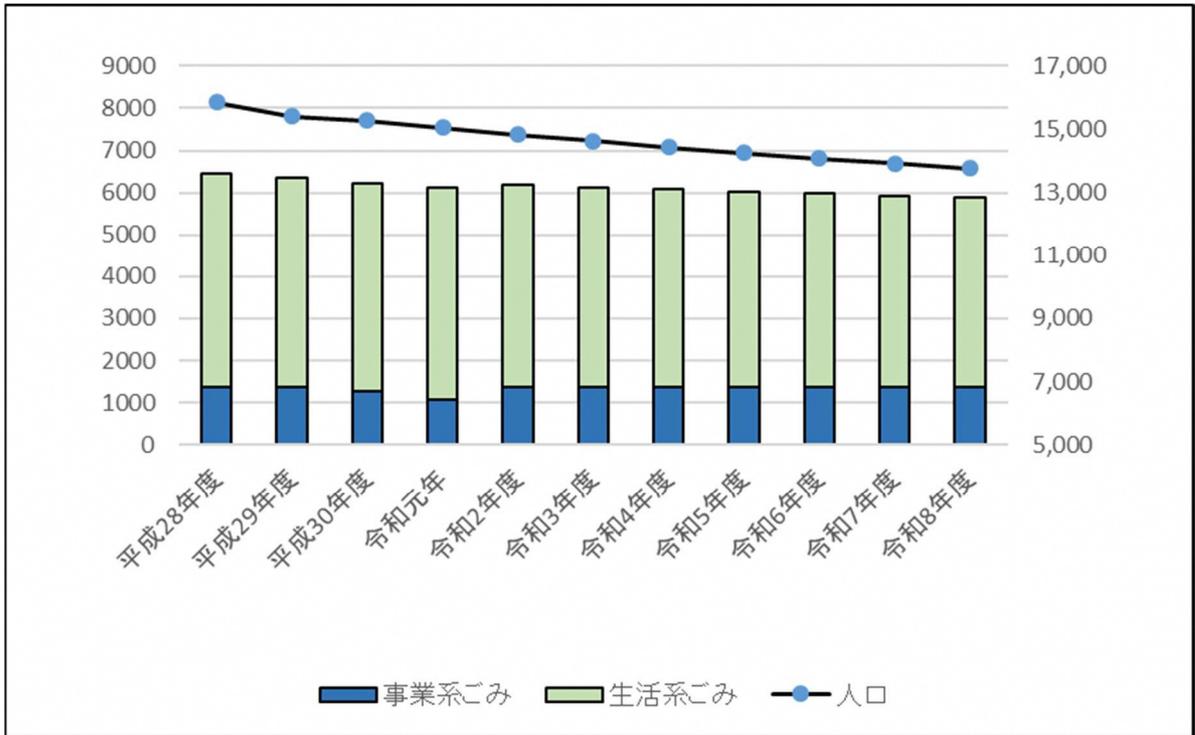
| 指標・単位 | 年 | 過去の状況・現状（排出量に対する割合） | | | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 目 標 |
|----------------------|--------------------|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | |
| 総 人 口 | | 16,652 | 16,333 | 16,041 | 15,649 | 15,285 | 14,962 | 集計中 | 13,765 |
| 公 共 下 水 道 | 汚水衛生処理人口 | 113 | 110 | 111 | 111 | 104 | 107 | 集計中 | 100 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 集計中 | 0.7% |
| 集 落 排 水 施 設 等 | 汚水衛生処理人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 集計中 | 0 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 集計中 | 0.0% |
| 合 併 処 理 浄 化 槽 等 | 汚水衛生処理人口 | 4,329 | 4,433 | 4,514 | 4,614 | 4,687 | 4,763 | 集計中 | 5,281 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 26.0% | 27.1% | 28.1% | 29.5% | 30.7% | 31.8% | 集計中 | 38.4% |
| コ ミ ュ ニ ティ プ ラ ン ト 等 | 汚水衛生処理人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 集計中 | 0 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 集計中 | 0.0% |
| 未 処 理 人 口 | 汚水衛生未処理人口 | 12,210 | 11,790 | 11,416 | 10,924 | 10,494 | 10,092 | 集計中 | 8,384 |

5. 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

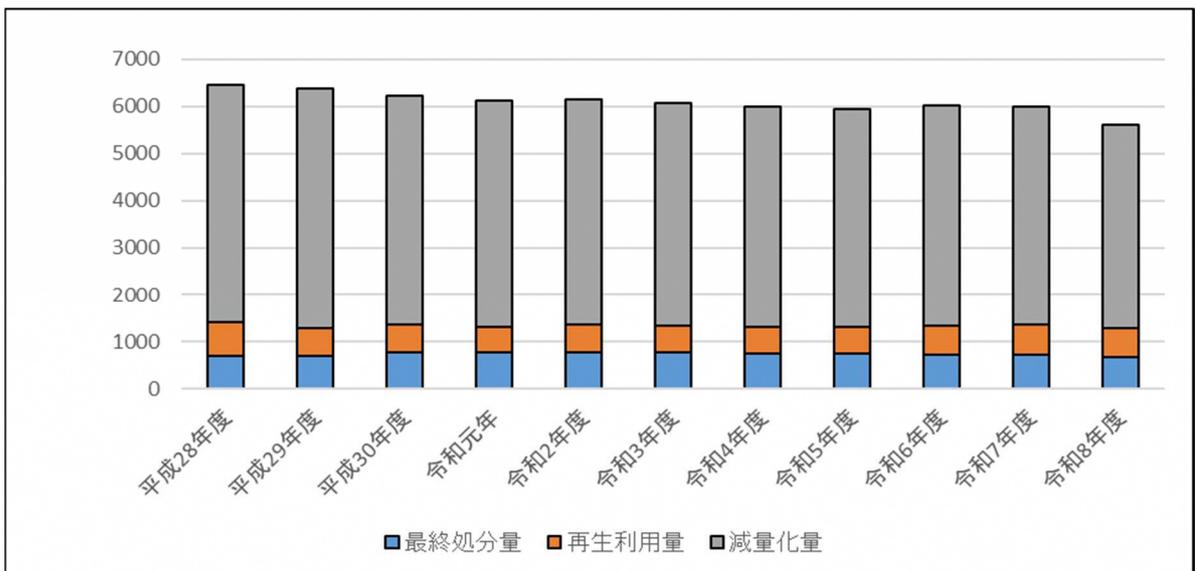
| 施設種別 | 事業主体 | 現有施設の内容 | | | 整備予定基数の内容 | | |
|-----------|-------|---------|-------|-------|-----------|------|------|
| | | 基数 | 処理人口 | 開始年月 | 基数 | 処理人口 | 目標年月 |
| 浄化槽設置整備事業 | 那智勝浦町 | 1,963 | 3,926 | H3.04 | 215 | 430 | R7年度 |

添付資料5 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

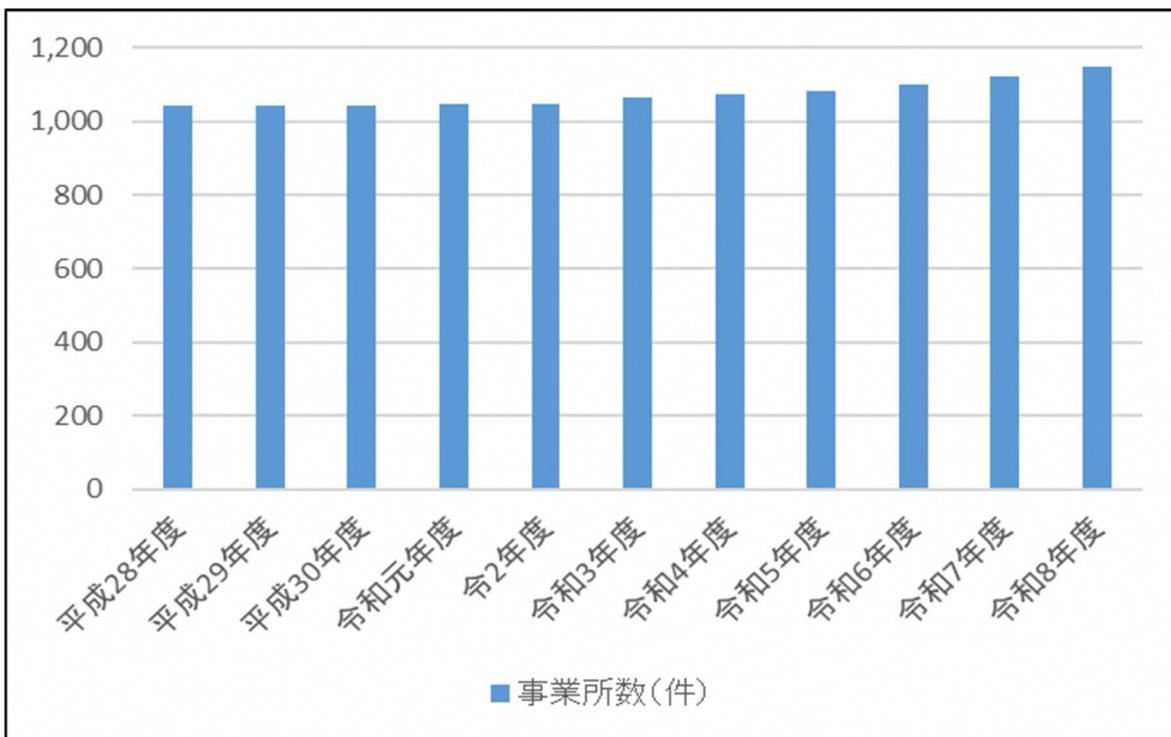
1. 人口及びごみ排出量の推移



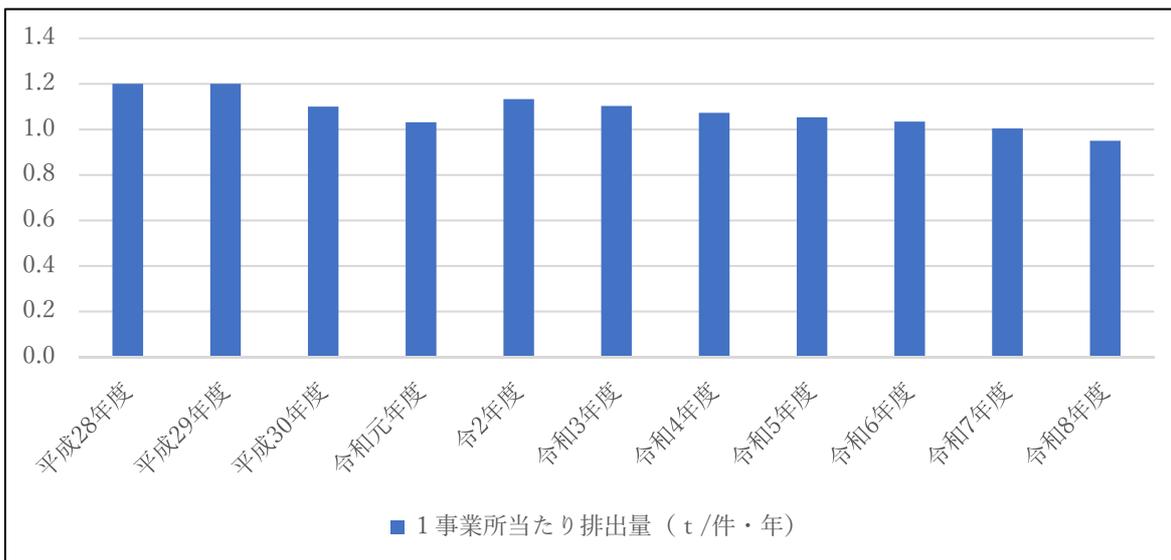
2. 処理・処分の推移



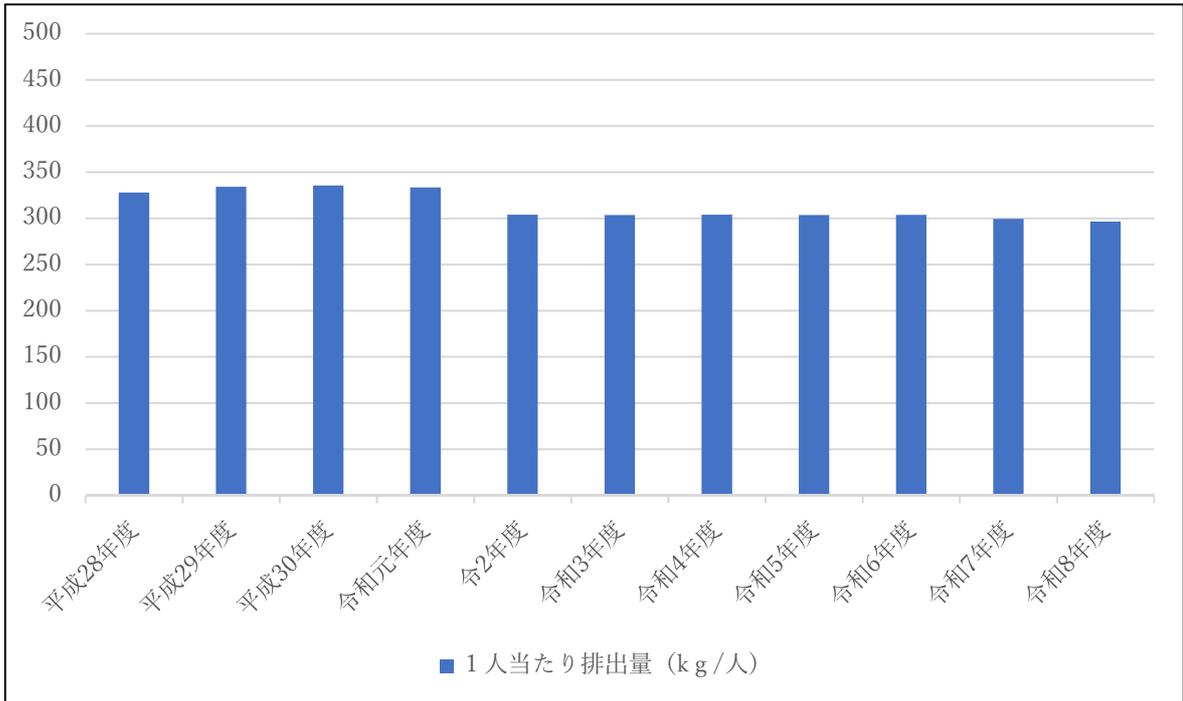
3. 事業所数の推移



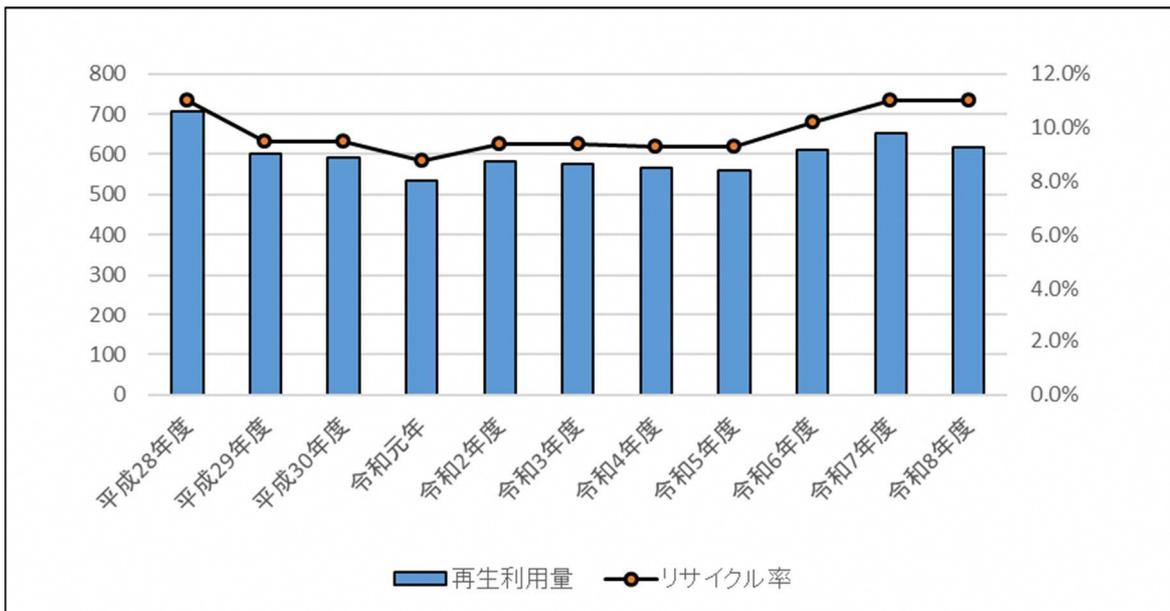
4. 1事業所あたりの排出量の推移



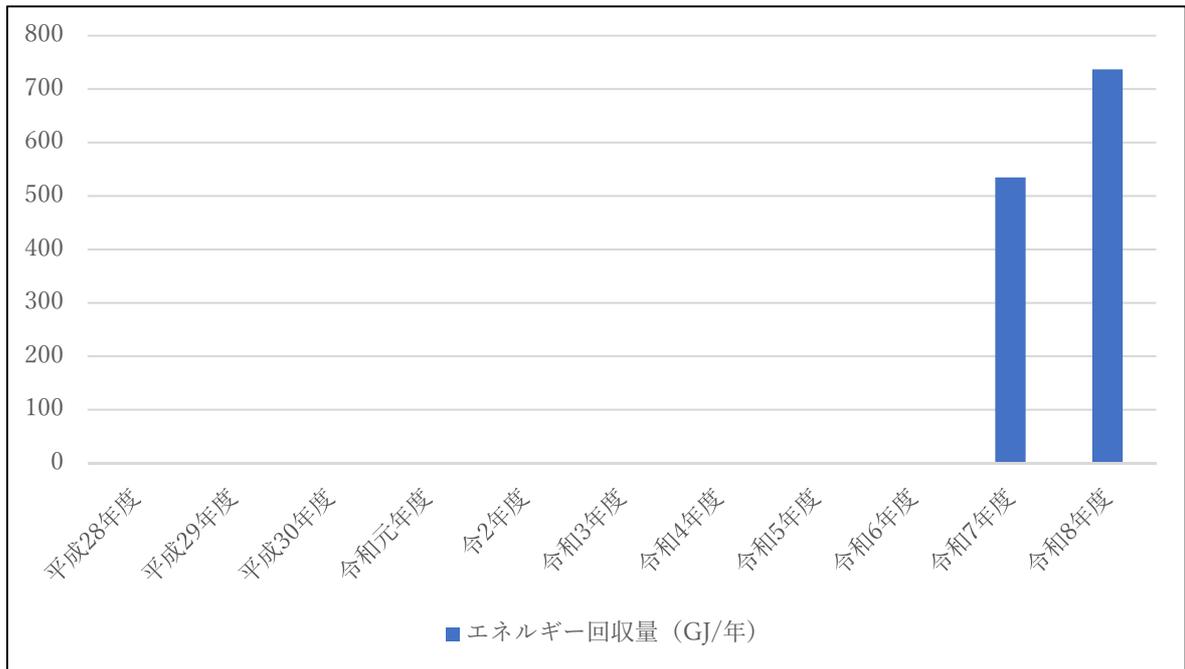
5. 1人あたりの排出量の推移



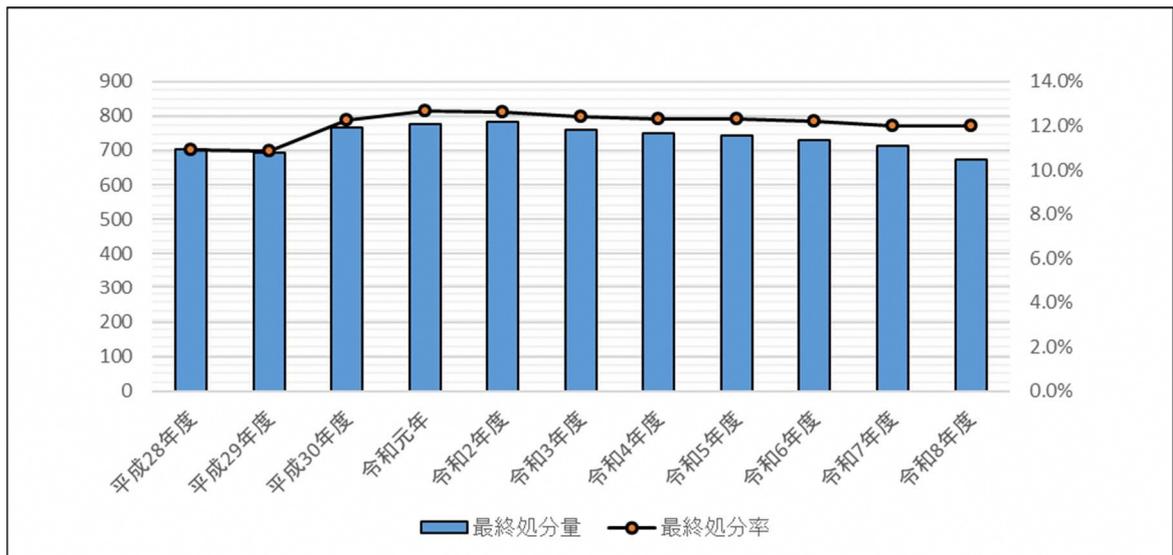
6. 再生利用量の推移



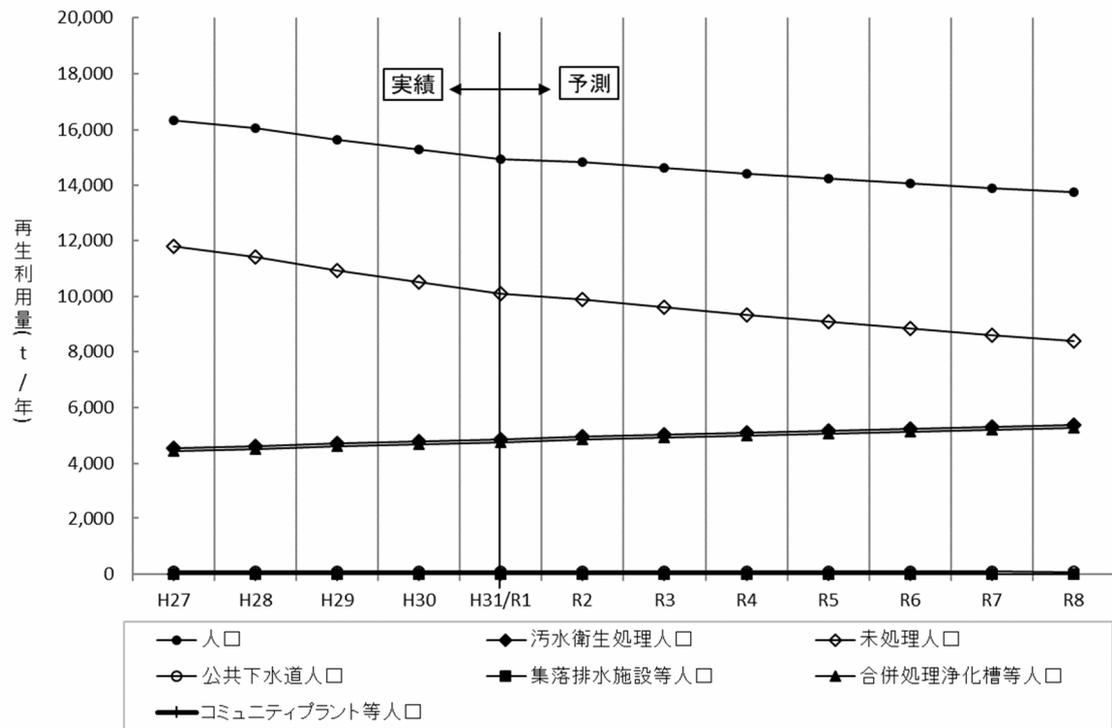
7. エネルギー回収量の推移



8. 最終処分量の推移



5. 生活排水処理人口の推移



循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2

| 事業種別 | 事業番号 ※1 | 事業主体 名 ※2 | 規模 | 事業期間 交付期間 | | 総事業費(千円) | | | | | 交付対象事業費(千円) | | | | | 備 考 | | |
|--------------------|------------|-----------------|---------|--------------|----|------------------------|-----------|---------------------|----------------------|------------------------|--------------------|-----------|-----------|---------------------|--------------------|------------------------|-------------------|--|
| | | | | 開始 | 終了 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 | 令和 3年度 | 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 | | | |
| ○マテリアルリサイクル等に関する事業 | | | | | | 683,277 | 0 | 27,621 187,979 | 188,945 154,141 | 434,377 204,983 | 32,334 136,174 | 683,277 | 0 | 27,621 187,979 | 188,945 154,141 | 434,377 204,983 | 32,334 136,174 | |
| マテリアルリサイクル推進施設整備 | 2 | 那智勝浦町 | 3.7 t/日 | R4 | R7 | 683,277 | | 27,621 187,979 | 188,945 154,141 | 434,377 204,983 | 32,334 136,174 | 683,277 | 0 | 27,621 187,979 | 188,945 154,141 | 434,377 204,983 | 32,334 136,174 | |
| ○エネルギー回収等に関する事業 | | | | | | 4,154,303 4,153,423 | 0 | 15,521 1,174,641 | 697,116 904,999 | 3,314,599 1,246,027 | 127,067 827,756 | 3,172,663 | 0 | 3,946 898,228 | 415,772 688,892 | 2,733,549 951,799 | 19,396 633,744 | |
| エネルギー回収型廃棄物処理施設整備 | 1 | 那智勝浦町 | 23 t/16 | R4 | R7 | 4,154,303 4,153,423 | | 15,521 1,174,641 | 697,116 904,999 | 3,314,599 1,246,027 | 127,067 827,756 | 3,172,663 | 0 | 3,946 898,228 | 415,772 688,892 | 2,733,549 951,799 | 19,396 633,744 | |
| ○浄化槽に関する事業 | | | | | | 117,908 | 15,674 | 25,176 | 25,686 | 25,686 | 25,686 | 117,908 | 15,674 | 25,176 | 25,686 | 25,686 | 25,686 | |
| 浄化槽設置整備 | 3 | 那智勝浦町 | 215 基 | R3 | R7 | 117,908 | 15,674 | 25,176 | 25,686 | 25,686 | 25,686 | 117,908 | 15,674 | 25,176 | 25,686 | 25,686 | 25,686 | |
| 浄化槽市町村整備推進 | | | | | | 0 | | | | | | 0 | | | | | | |
| ○施設整備に関する計画支援事業 | 1、2 | 那智勝浦町 | | R3 | R4 | 2,200 | 1,918 | 282 | | | | 2,200 | 1,918 | 282 | | | | |
| 合 計 | | | | | | 4,957,688 4,956,808 | 17,592 | 68,600 1,388,078 | 911,747 1,084,826 | 3,774,662 1,476,696 | 185,087 989,616 | 3,976,048 | 17,592 | 57,025 1,111,665 | 630,403 868,719 | 3,193,612 1,182,468 | 77,416 795,604 | |

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号と一致させること。
 ※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。
 ※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。
 ※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

施設概要（リサイクル推進施設系）

都道府県名 和歌山県

| | |
|------------------|--|
| (1) 事業主体名 | 那智勝浦町 |
| (2) 施設名称 | 那智勝浦町クリーンセンター |
| (3) 工 期 | 令和 4 年度～令和 7 年度 |
| (4) 施設規模 | 処理能力 3.7 t /5 h |
| (5) 処理方式 | 選別、破砕、圧縮、梱包等 |
| (6) 地域計画内の役割 | リサイクル施設（資源物の選別、破砕、圧縮、梱包等） |
| (7) 廃焼却施設解体工事の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

| | |
|---------------------|--|
| (8) 生成する原材料及びその利用計画 | |
|---------------------|--|

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

| | |
|---------------|--|
| (9) 固形燃料の利用計画 | |
|---------------|--|

「ストックヤード」を整備する場合

| | |
|--------------|--|
| (10) ストック対象物 | |
|--------------|--|

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

| | |
|-----------------------|--|
| (11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳 | |
|-----------------------|--|

| | |
|------------|---------------------|
| (12) 事業計画額 | 683,277 千円（施工監理を含む） |
|------------|---------------------|

施設概要（熱回収施設系）

都道府県名 和歌山県

| | |
|------------------|---|
| (1) 事業主体名 | 那智勝浦町 |
| (2) 施設名称 | 那智勝浦町クリーンセンター |
| (3) 工 期 | 令和4年度～令和7年度 |
| (4) 施設規模 | 処理能力 23t/16h (11.5t/16h × 2 炉) |
| (5) 形式及び処理方式 | ストーカー方式 |
| (6) 余熱利用の計画 | 1. 発電の有無 有 (発電効率 0.0%) ・ <input type="radio"/> 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> (熱回収率 10.0%以上) ・ <input type="radio"/> 無 |
| (7) 地域計画内の役割 | 循環型社会形成を推進する拠点施設として、ごみ処理により発生する熱エネルギーを有効活用する。 |
| (8) 廃焼却施設解体工事の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |

「灰溶融施設」を整備する場合

| | |
|--------------|--|
| (9) スラグの利用計画 | |
|--------------|--|

「高効率原燃料回収施設」を整備する場合

| | | |
|----------------------|-------------|---------------------|
| (10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量 | 1. 発生ガス回収効率 | N m ³ /t |
| | 2. 発生ガス量 | N m ³ /日 |
| (11) 回収ガスの利用計画 | | |

| | |
|------------|----------------------------------|
| (12) 事業計画額 | 4,153,423 4,154,303 千円 (施工監理を含む) |
|------------|----------------------------------|

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 和歌山県

| | |
|-----------------|---|
| (1) 事業主体名 | 那智勝浦町 |
| (2) 事業名称 | 浄化槽設置整備事業 |
| (3) 事業の実施目的及び内容 | 生活排水による公共集雨域の水質汚濁を防止し公衆衛生の向上を図る。汚水処理人口の向上のため、合併浄化槽の整備を推進する。 |
| (4) 事業期間 | 令和3年度 ～ 令和7年度 |
| (5) 事業対象地域の要件 | 那智勝浦町を全域とする。ただし、公共で水道が整備された地域を除く。 |
| (6) 事業計画額 | 交付対象事業費 117,908 千円 |

○ 事業計画額の内容及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

| 区分 | 交付対象基数 (人分) | 基準額 | 対象経費 支出予定額 | 交付対象 事業費 |
|-----------------|----------------|-----------|---------------|-------------|
| 5人槽 | 185基 (370人分) | 99,982千円 | 99,982千円 | 99,982千円 |
| 6～7人槽 | 20基 (40人分) | 10,248千円 | 10,248千円 | 10,248千円 |
| 8～10人槽 | 10基 (20人分) | 7,678千円 | 7,678千円 | 7,678千円 |
| 11～20人槽 | 基 (人分) | | | |
| 21～30人槽 | 基 (人分) | | | |
| 31～50人槽 | 基 (人分) | | | |
| 51人槽以上 | 基 (人分) | | | |
| 浄化槽整備 効率化事業費 | 台帳作成費 | | | |
| | 計画策定等調査費 | | | |
| 合計 | 215基 (430人分) | 117,908千円 | 117,908千円 | 117,908千円 |

計画支援概要

都道府県名 和歌山県

| | |
|-----------|--|
| (1) 事業主体名 | 那智勝浦町 |
| (2) 事業目的 | エネルギー回収型廃棄物処理施設 及びマテリアルリサイクル推進施設整備のため |
| (3) 事業名称 | エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備事業に係る計画支援事業 |
| (4) 事業期間 | 令和3年度～令和4年度 |
| (5) 事業概要 | 発注支援業務（要求水準書等の作成および事業者選定支援） |

| | |
|-----------|----------|
| (6) 事業計画額 | 2,200 千円 |
|-----------|----------|

那智勝浦町【北部】 洪水・土砂災害 ハザードマップ



現施設
那智勝浦町クリーンセンター

| | | | |
|--|---------------------------------|--|--------------|
| | 一次避難場所 | | 土砂災害(特別)警戒区域 |
| | 中核避難場所 | | 急傾斜地の崩壊 |
| | 危険な崖地 がけ崩れによる被害のおそれがある崖地 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 土石流危険渓流の流域 土石流による被害のおそれがある流域 | | 土石流 |
| | 特定3号地 おそれのある場所 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 洪水浸水想定区域 | | 地すべり |
| | 浸水 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 浸水深 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 5.0m以上 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 2.0m～5.0m未満 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 1.0m～2.0m未満 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 0.5m～1.0m未満 | | 土砂災害警戒区域 |
| | 0.5m未満 | | 土砂災害警戒区域 |

那智川の洪水浸水想定区域は、和歌山県が平成25年に行った、那智川流域の2時間雨量約45mm(1時間雨量約137mm)の降雨があった場合の想定結果を示しています。

那智勝浦町【南部】 洪水・土砂災害 ハザードマップ

索引図



| 避難場所 | |
|----------|---------------|
| | 一次避難場所 |
| | 中核避難場所 |
| 洪水浸水想定区域 | |
| | 浸水深 5.0m以上 |
| | 2.0m～5.0m未満 |
| | 1.0m～2.0m未満 |
| | 0.5m～1.0m未満 |
| | 0.5m未満 |

避難情報を入力して早めの行動を

災害の危険性が高まったとき、那智勝浦町から避難情報が発表されます。どの情報かを判断し、適切な行動をとってください。

| 避難準備情報 | 住民が求める行動 |
|---------------|----------------|
| 避難準備情報 | 避難の準備を始めてください。 |
| 避難勧告 | 避難を始めてください。 |
| 避難指示 | ただちに避難してください！ |

避難の心得

いざというときに、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 状況によりすぐ早く避難しましょう 避難情報などが発表されているときは、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。 | | 家族には連絡メモを残そう 外出中の家族には、どこどこへ避難するといったようなメモを残しておきましょう。 |
| | 防災メモを持とう 高齢者や子どもなど、高齢者、障がい者など避難メモを残し、備に付けて避難しましょう。 | | 集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決めたルートで避難しましょう。 |
| | 車の避難は控えて 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。 | | 安全なルートで避難 避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な高い道を選びましょう。 |
| | 持ち出し品は最小限に 多量持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。 | | 避難施設では指示に従いましょう 避難施設に着いたら、避難施設では他の人の指示に従い、指示・名簿を報告しましょう。 |

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が周辺に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

| | | | | | |
|--|----------------------|--|---------------------|--|--------------|
| | 避難所への避難(水平避難) | | 高所への避難(垂直避難) | | 危険な避難 |
|--|----------------------|--|---------------------|--|--------------|

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地震がゆらみ、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。これらが発生するときは、多くの場合、何らかの前兆現象が現れます。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、速やかに安全な場所へ避難してください。

| | | | |
|---|--|--|--|
| 土砂災害の種類は、大雨・台風・地震による浸水・地震による揺れなどによって発生します。また、大雨や台風、地震が起きたときには、地震がゆらみ、「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。これらが発生するときは、多くの場合、何らかの前兆現象が現れます。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、速やかに安全な場所へ避難してください。 | がけ崩れ 地中にしみ込んだ水が、急な斜面を突如崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で寝ると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。 | 土石流 長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一緒に一気に下流へ押し流される現象です。 | 地すべり 大雨や集中豪雨により雨水が地中にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものがあります。 |
|---|--|--|--|

新施設
(仮称) 那智勝浦町新クリーンセンター

現施設 大浦浄苑



| | | | |
|--|--------------------------------|--|-------------------------------|
| | 土砂災害(特別)警戒区域 急傾斜地の崩壊 | | 土砂災害危険箇所 急傾斜地崩壊危険箇所 |
| | 土砂災害特別警戒区域 | | がけ崩れによる浸水の恐れがある箇所 |
| | 土砂災害警戒区域 | | 土石流危険浸水区域 |
| | 土砂災害警戒区域 | | 土砂災害による浸水の恐れがある箇所 |
| | 土砂災害警戒区域 | | 地すべりの恐れがある箇所 |

本町の洪水浸水想定区域は、和歌山県が平成18年に行った、大田川流域の24河川の総延長約56kmの調査に基づいて算出されています。